

# 全国の生きもののマーク米について

2010年 4 月 23日

農林水産政策研究所  
田中淳志

# 目 次

1. 「生きもののマーク」とは
2. 生きものの現状
3. 調査目的・方法
4. 結果(1)～(11)
5. まとめ (1)(2)

# 1 . 「生きもののマーク」とは

- ・ 農林水産業の営みを通じて生物多様性を守り育む取り組みと、その産物等を活用した発信や環境教育などのコミュニケーション（必ずしもラベルを産物に貼ることを条件としているわけではない）を表す言葉。
- ・ 基準や認証制度はない。
- ・ 意識をして生きものを保全している。

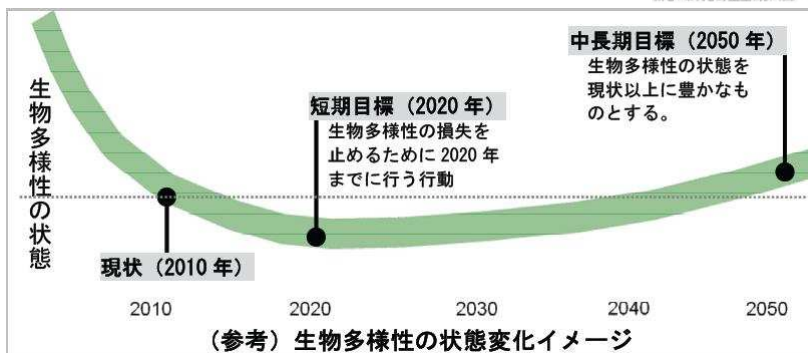


・ 農林水産省は平成22年3月に生きもののマークガイドブックを公表  
( [http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/100331\\_1.html](http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/100331_1.html) )

## 2. 生きものの現状

わが国で絶滅のおそれのある野生生物の種数

| 絶滅のおそれのある種 |           | 絶滅のおそれのある種        |                |
|------------|-----------|-------------------|----------------|
| 絶滅 (EX)    | 野生絶滅 (EW) | 絶滅危惧 I 類 (CR, EN) | 絶滅危惧 II 類 (VU) |
|            |           | 3,155             |                |
| 120        | 12        | 1,811             | 1,344          |



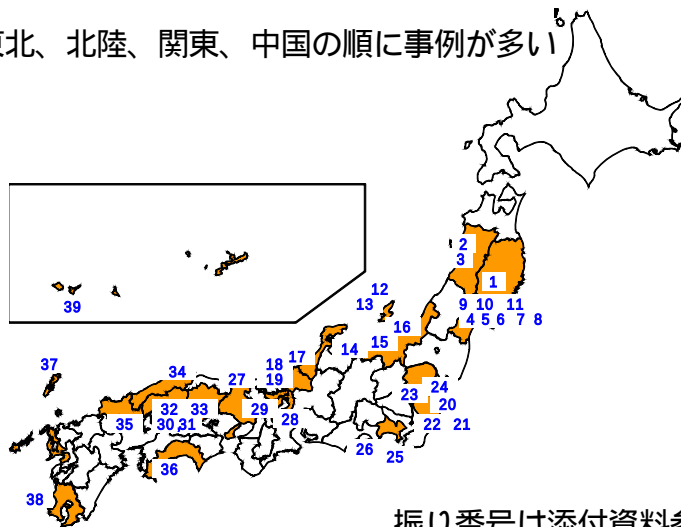
生物多様性国家戦略2010 将来目標

### 3 . 調査目的・方法

- ・ 事例の多いお米に限定した調査。
- ・ 価格や販路、取組みなど、概略的な傾向を明確化。
- ・ 生物多様性に配慮した政策立案への寄与を目指す。
- ・ インターネット、新聞、学術雑誌、審議会、各種団体の発行誌などから情報を入手し、加工分析（添付資料の引用参照）。

## 4.結果(1) 生き物マーク米の分布

- ・ 東北、北陸、関東、中国の順に事例が多い



振り番号は添付資料参照

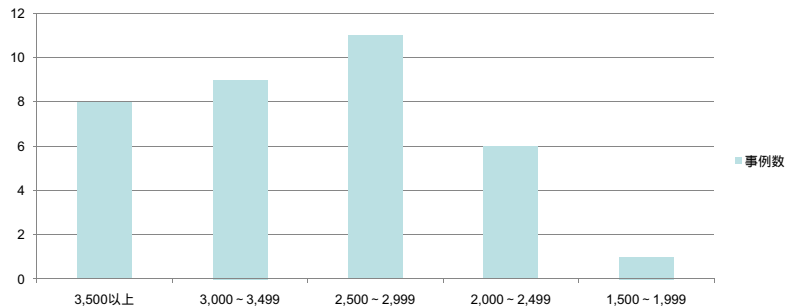
## 4.(2) 生き物マーク米の概要

- ・栽培面積は全国で1,254ha。水稲作付面積 163万7千ha (平成21年)の約0.07%。
- ・生産者に加え、NPO団体、環境教育団体が生産に関わるのは約20の事例。
- ・会報での販売、農作業や水田魚道設置作業の分担など、NPO団体等が重要な役割を担っているものもある。
- ・差別化せずに生き物保全を目的としている事例  
例.長野県小諸市（ミズオオバコなど）、大阪府八尾市（ニッポンバラタナゴ）

## 4.(3) 価格帯

- ・ 2,500~2,999円(/5kg)の価格帯が多い。
- ・ 平均小売価格は2,885円(/5kg)
- 一方、慣行米2,164円(/5kg)(H21産コシヒカリ平均価格・特売含む。農林水産省2009.10)

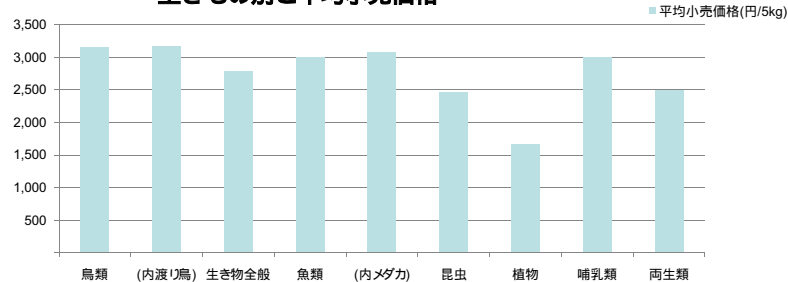
生きものマーク米小売価格分布(円/5kg)



- ・ うるち米の小売価格を対象（もち米、酒米、古代米は除外）
- ・ 生き物マーク米の小売価格に幅がある場合は平均値を採用
- ・ 減農薬と無農薬など同一産地で2種類以上のお米を販売している場合は平均値を採用
- ・ 以下の比較も一部を除き同様の条件

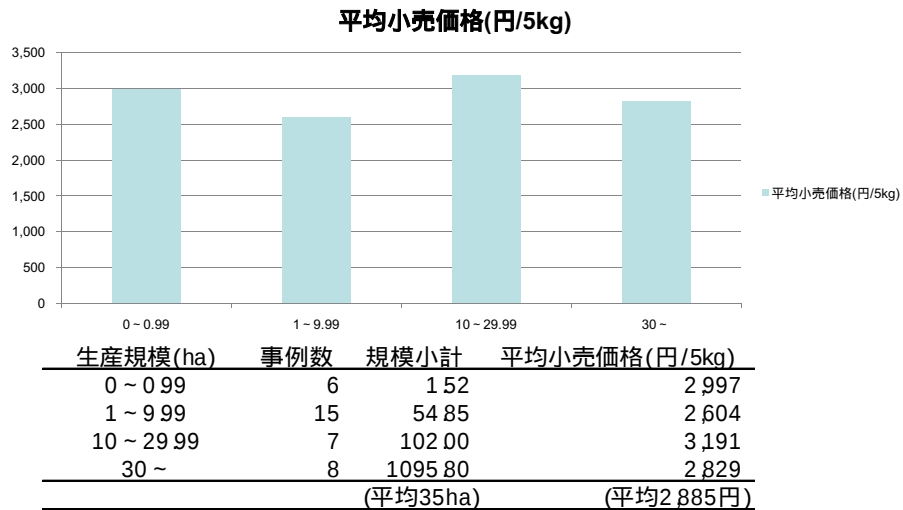
## 4.(4) 生きものの種別と小売価格

- ・鳥類をシンボルとしたものの平均価格が高く、事例数も多い  
生きものの別と平均小売価格



| 野生生物の分類群  | 事例数    | 平均小売価格(円/5kg) |
|-----------|--------|---------------|
| 鳥類 (内渡り鳥) | 13 (8) | 3 156 (3,168) |
| 生き物全般     | 12     | 2 777         |
| 魚類 (内メダカ) | 8 (6)  | 2 995 (3,068) |
| 昆虫        | 3      | 2 465         |
| 植物        | 1      | 1 666         |
| 哺乳類       | 1      | 3 000         |
| 両生類       | 1      | 2 500         |
|           |        | (平均2 885)     |

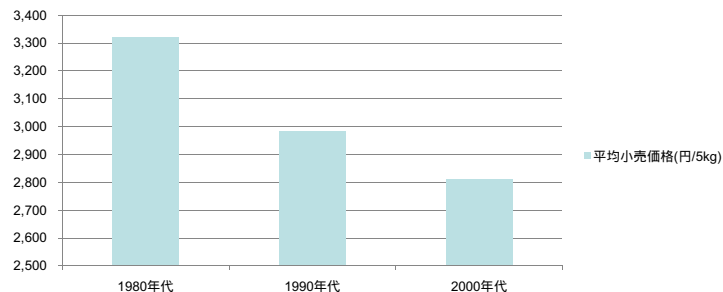
## 4.(5) 生産規模と小売価格



## 4.(6) 取り組み開始年と価格

- ・ 事例数は少ないが、取り組みが長いほど販売価格が高い。

平均小売価格(円/5kg)

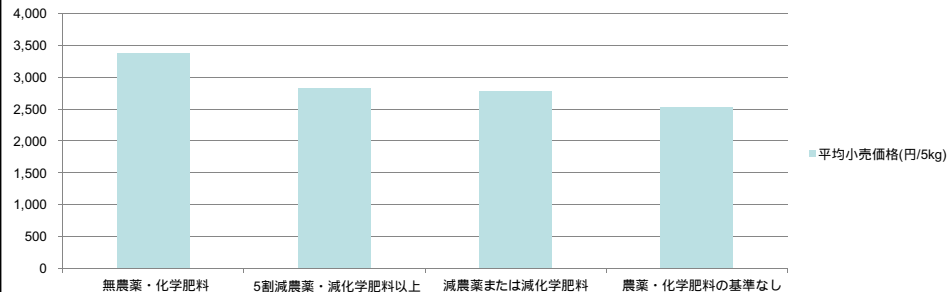


| 取組開始年  | 事例数 | 平均小売価格(円/5kg) |
|--------|-----|---------------|
| 1980年代 | 2   | 3 320         |
| 1990年代 | 10  | 2 983         |
| 2000年代 | 26  | 2 811         |
|        |     | (平均2 885円)    |

## 4.(7) 栽培基準と価格

- ・栽培基準が厳しくなると小売価格も上昇する。

平均小売価格(円/5kg)



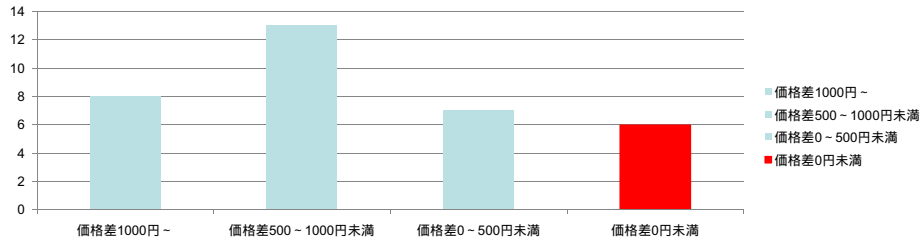
| 農薬・化学肥料の基準    | 事例数 | 平均小売価格(円/5kg) |
|---------------|-----|---------------|
| 無農薬・化学肥料      | 10  | 3,388         |
| 5割減農薬・減化学肥料以上 | 15  | 2,840         |
| 減農薬または減化学肥料   | 11  | 2,786         |
| 農薬・化学肥料の基準なし  | 4   | 2,538         |

(平均2,885円)

## 4.(8) 慣行米との価格差(1)

- ・ 価格差500～1000円/5kgの事例が最も多い。
- ・ 価格差0円未満の6事例は、販路に知人・縁故、産直がある。

慣行米との小売価格差(円/5kg)



| 価格差(円/5kg)     | 事例数 |
|----------------|-----|
| 価格差1000円～      | 8   |
| 価格差500～1000円未満 | 13  |
| 価格差0～500円未満    | 7   |
| 差0円未満          | 6   |
| (平均価格差610円)    |     |

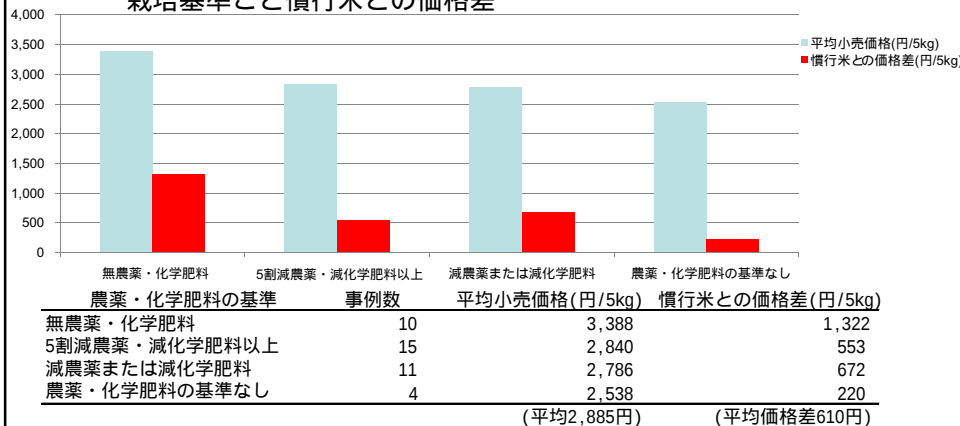
注)・生き物マーク米、慣行米ともに定価で比較

・慣行米価格はネットショップの複数の価格を比較し、最安値を取得

## 4.(9) 慣行米との価格差 (2)

- ・ 無農薬・化学肥料が平均小売価格、価格差ともに最も高い。
- ・ 栽培基準の厳しさ順にほぼ価格差が形成されている。

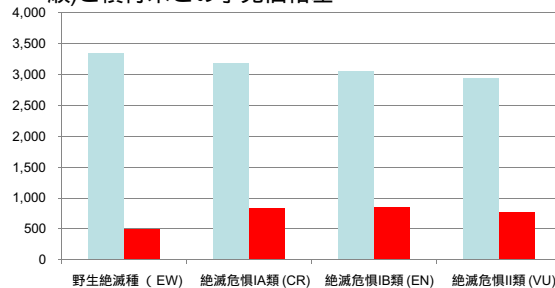
栽培基準ごと慣行米との価格差



## 4.(10) 慣行米との価格差 (3)

- ・ 絶滅のおそれの高い順に平均小売価格が高い。

保全種の絶滅のおそれの度合い(レッドデータブック掲載リスト順)と慣行米との小売価格差

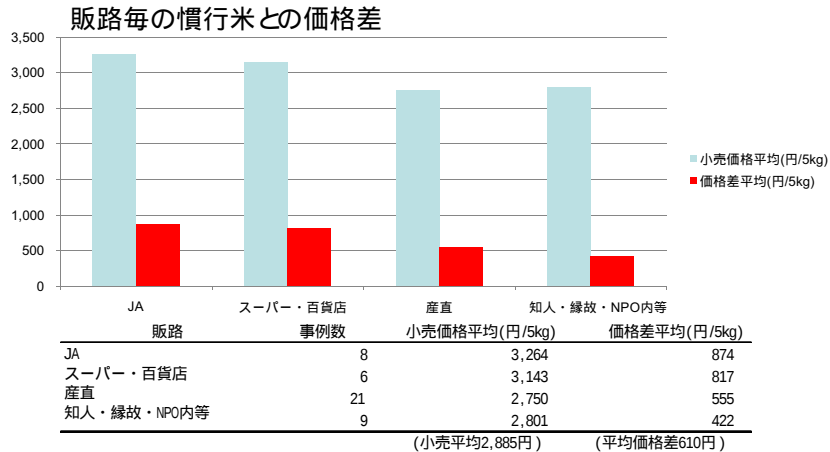


保護されたツシマヤマネコ幼獣

| 価格差          | 事例数 | 小売価格平均 (円 /5kg) | 価格差平均 (円 /5kg) |
|--------------|-----|-----------------|----------------|
| 野生絶滅種 (EW)   | 2   | 3,338           | 498            |
| 絶滅危惧IA類 (CR) | 6   | 3,186           | 832            |
| 絶滅危惧IB類 (EN) | 3   | 3,045           | 844            |
| 絶滅危惧II類 (VU) | 13  | 2,942           | 771            |
|              |     | (平均 2,885円)     | (平均価格差610円)    |

## 4.(11) 慣行米との価格差 (4)

- ・ JA、スーパー等の流通を通すと平均価格が上昇し、慣行米との価格差も大きくなる。



## 5 . まとめ(1)-生産者の視点-

- ・ 消費者の関心が高まっており、プレミアムを付けて販売が可能。
  - 栽培方法が厳しいほど、高小売価格、高プレミアム
  - 保全対象生きものは鳥類が有利
  - 絶滅のおそれの度合いはプレミアムに反映されていない
  - 生産者にとって重要な**値付けの仕方**、**販路の開拓**などについての分析は今後の課題
- ・ 栽培基準の統一、価格決め、販路開拓、利益の分配方法などを決める必要がある（価格や販路は常に変化する）。
- ・ 地域に希少な種が生息し、NPO 法人などの協力者が得られれば、生きものマーク米の生産に加え、販売先も協力が得られる

## 5 . (2) -生き物の視点 -

- ・ 生きもののマーク米で保全されている生きものはごく僅か。
- ・ 絶滅のおそれの高いミヤコタナゴ、アユモドキなど密漁防止のため関係者の間で生息さえ秘匿されている水田が多くあり、生きもののマーク米としての売り出しが難しい。
- ・ 希少な生きものが生息している場所は、条件不利地域（離島、傾斜地など）が多く、希少なものも含めた生きものの保全を行いながら農業生産を行う生産者を支援する必要があると思料される。

## (参考). 東海地方の農村の生きものの例 1

### 【動物】

#### 【魚類】

アブラハヤ  
アブラボテ  
アマゴ  
アメマス  
アユ  
イバラトミヨ  
イワナ  
ウキゴリ  
ウグイ  
ウシモツゴ (絶滅危惧ⅠA類)  
ウナギ  
エゾホトケドジョウ  
オイカワ  
カネヒラ  
カマツカ  
カウアナゴ  
カワバタモロコ (絶滅危惧ⅠB類)  
カムツ  
カワヤツメ  
ギバチ (絶滅危惧Ⅱ類)  
ギンブナ

ゲンゴロウブナ  
コイ  
シナイモツゴ (絶滅危惧ⅠB類)  
シマウキゴリ  
シマドジョウ、スジシマドジョウ  
スイゲンゼニタナゴ (絶滅危惧ⅠA類)  
スナヤツメ (絶滅危惧Ⅱ類)  
スミウキゴリ  
ゼゼラ  
ゼニタナゴ (絶滅危惧ⅠB類)  
タカハヤ  
タナゴ類  
タモロコ  
ツチフキ  
トウヨシノボリ  
トゲウオ類  
ドジョウ  
ドンコ  
ナズ  
ニオイ  
ニッポンバラタナゴ (絶滅危惧ⅠA類)  
スマチチブ  
ハリヨ

ヒゴイ (飼育種)  
ヒナモロコ (絶滅危惧ⅠA類)  
ヒブナ (飼育種)  
ヒメダカ (飼育種)  
ビワヒガイ  
フクドジョウ  
ホトケドジョウ (絶滅危惧ⅠB類)  
ミヤコタナゴ (絶滅危惧ⅠA類)  
ムギツク  
メダカ (絶滅危惧Ⅱ類)  
モツゴ  
ヤマメ  
ヤリタナゴ  
ヨシノボリ類

#### 【貝類・甲殻類】

イシガイ  
カラスガイ (準絶滅危惧)  
カワニナ  
カワネジガイ (絶滅危惧Ⅰ類)  
ドブガイ  
ヒメタニシ  
ヒメモノアラガイ

ヒラマキミズマイマイ  
ホウネンエビ類 (ホウネンエビ)  
マシジミ  
マツカサガイ (準絶滅危惧)  
マルタニシ (準絶滅危惧)  
モノアラガイ (準絶滅危惧)

#### 【爬虫類・両生類】

アマガエル  
イシガメ  
カスミサンショウウオ  
クサガメ  
シマヘビ  
シュレーゲルアオガエル  
スッポン  
ナゴヤダルマガエル (絶滅危惧Ⅱ類)  
ツチガエル  
トウキョウサンショウウオ  
トウホクサンショウウオ  
トノサマガエル・トウキョウダルマガエル  
ニホンアカガエル・ヤマアカガエル  
ニホンイモリ  
ニホンヒキガエル・アズマヒキガエル



出典：東海農政局(2009取得) [www.maff.go.jp/tokai/noson/jigyo/yama/pdf/nousontiiki-ikimono.pdf](http://www.maff.go.jp/tokai/noson/jigyo/yama/pdf/nousontiiki-ikimono.pdf)

## (参考). 東海地方の農村の生きものの例 2

ヌマガエル  
ヒバカリ  
ホクリクサンショウウオ  
(絶滅危惧ⅠB類)  
マムシ  
モリアオガエル  
ヤマカガシ

### 【爬虫類】

アオモンイトトンボ  
アオウサカメムシ  
アカガネオサムシ  
アキアカネ  
アメンボ  
イチモンジセセリ  
イネクビボソハムシ  
イネネクイハムシ  
ウスバキトンボ  
ウチウヤンマ  
ウマオイ (ハタケノウマオイ)  
エンマコウロギ  
オオアイトトンボ  
オオアメンボ  
オオイトトンボ  
オオカマキリ  
オオキバリアオゴミムシ  
オオシオカラトンボ  
オオマルハナバチ  
オオミズムシ

オニヤンマ  
カトリヤンマ  
ガムシ類 (ガムシ)  
カンタン  
キイトンボ  
キタテハ  
キボシアオゴミムシ  
キリギリス  
ギンヤンマ、クロスジギンヤンマ  
クロイトトンボ  
クロゲンゴロウ  
ケラ  
ゲンゴロウ (準絶滅危惧)  
ゲンジボタル  
コオイムシ類  
(コオイムシ・オオコオイムシ)  
コカマキリ  
コキバリアオゴミムシ  
コサナエ  
コバネイナゴ  
コフキトンボ  
コムラサキ  
シオカライトトンボ  
シオヤトンボ  
シマアメンボ  
シャープゲンゴロウモドキ  
(絶滅危惧Ⅰ類)  
ジャノメチョウ  
ショウジョウトンボ  
ショウリョウバッタ

タイコウチ  
タガメ (絶滅危惧Ⅱ類)  
チョウトンボ  
トゲシハバッタ  
ナツアカネ  
ノシメトンボ  
ハイイロゲンゴロウ  
ハグロトンボ  
ハツチョウトンボ  
ハラビロトンボ  
ヒメアメンボ  
ヘイケボタル  
ベッコウトンボ (絶滅危惧Ⅰ類)  
ベニシジミ  
ホシミオツネトンボ  
マクオサムシ (絶滅危惧Ⅱ類)  
マイマイカブリ  
マツムシ  
マツモムシ  
マユタテアカネ  
ミズカマキリ類  
(ミズカマキリ・ヒメミズカマキリ)  
ミズスマシ類 (ミズスマシ)  
ミズムシ類  
ミドリシジミ  
ミドリヒョウモン  
(ヒョウモンチョウ類)  
ミヤマアカネ  
モンキチョウ  
モンシロチョウ

ヤマトシジミ

### 【鳥類】

アオサギ  
アオアシシギ  
アマサギ  
キジバト  
コチドリ  
サシバ  
スズメ  
チュウサギ (準絶滅危惧)  
チョウゲンボウ  
トバト  
ヒバリ  
ヒヨドリ  
フクロウ  
マガモ  
マナヅル  
モズ

### 【哺乳類】

アブラコウモリ  
カヤネズミ  
コウベモグラ  
ニホンイタチ  
ニホンイノシシ  
ニホンジカ  
ホンドギツネ  
ホンドタヌキ

## (参考). 東海地方の農村の生きものの例 3

### 【植物】

アカウキクサ  
アギナシ  
アサザ  
アゼオトギリ  
アゼナ  
アブノメ  
イチヨウウキゴケ  
イトモ  
イヌタデ  
イボクサ  
ウキクサ・アオウキクサ  
ウリカワ  
エノコログサ  
エビモ  
オオアカウキクサ  
オオアブノメ (絶滅危惧Ⅱ類)  
オオハコ  
オオバシナミズナ  
オニバス (絶滅危惧Ⅱ類)  
オモダカ  
オランダガラシ  
ガガブタ  
ガマ  
キガシグサ  
キクモ  
ギシギシ

キュウシュウスズメノヒエ  
クログワイ  
クロモ  
グンバイナズナ  
コカナダモ  
コナギ  
コバノヒルムシロ  
コマグサ  
サギソウ  
ササハモ  
サンショウモ  
ジュンサイ  
スギナ  
ススキ  
スズメノテッポウ  
スブタ  
スミレ  
セキショウモ  
セリ  
タイヌビエ  
タガラシ  
タコノアシ  
タチツボスミレ  
タネツケバナ  
チガヤ  
ツボスミレ  
ツルヨシ

テンジンソウ  
トキンソウ  
トリガモ  
ナズナ  
ノジスミレ  
ノタヌキモ  
バイカモ  
ビシ  
ヒツジグサ  
ヒメシロアサザ  
ヒルムシロ  
フジバカマ  
ヘラオモダカ  
ホッスモ  
マコモ  
マツバイ  
マルバノサワトウガラシ  
ミクリ (準絶滅危惧)  
ミズアオイ  
ミズオオハコ  
ミズガヤツリ  
ミズタカモジ  
ミズナラ  
ミズネコノオ  
ミスミイ  
ミゾコウジュ  
ミズハコベミカグサ

ムサシモ  
メヒシバ  
ヤナギスブタ  
ヨシ (アシ)  
ヨモギ

### 【外来種】

ウオーターレ  
キシュウスズメノヒエ  
クローバー  
セイタカアワダチソウ  
セイヨウタンポポ  
フタクサ  
ホテイアオイ  
アメリカザリガニ  
ウシガエル  
ウリミハエ  
オオクチバス  
カダヤシ  
カムルチー  
カラドジョウ  
カワヒバリガイ  
スクミリンゴガイ  
セイヨウオオマルハナバチ  
ソウギョ  
タイリクバラタナゴ  
ブルーギル

ご清聴、ありがとうございました。